

オーストラリア学会 2021年度全国研究大会

参加申込
方法

対面での参加・オンライン視聴の
いずれの場合も、
事前の参加申込をお願いします。

申込締切 6月4日(金)まで

お申し込みフォームはこちらから



<https://forms.gle/UwzGHb1ovbZNJHbG6>

学会員・
非学会員とも
**参加費
無料**

2011年に起きた東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の
発生から、今年で10年が経ちます。

2021年度全国研究大会は、オーストラリアにも
大きな衝撃を与え、日豪関係にも影響を与えた
この出来事を再考し、その教訓と今後の展開を検討する
ことを統一テーマとして福島で対面にて開催いたします。

<5月17日変更>
・新型コロナウイルス感染防止対策のため、対面での参加定員を25名に縮小して
開催します。
・非学会員も、オンラインでセッションを聴講できることになりました。

第1日目 2021
6.12(土)

会場
福島大学
〒960-1296
福島県福島市金谷川1番地

会場アクセス
<https://www.fukushima-u.ac.jp/access/>

10:00 理事会／福島大学行政政策学類棟2階大会議室
13:00 受付開始／L棟L1教室前
13:30 開会セレモニー／L棟L1教室
司 会：永野隆行(オーストラリア学会副代表理事・獨協大学)
開会挨拶：南出真助(オーストラリア学会代表理事・追手門学院大学)
オーストラリア大使館・豪日交流基金よりご挨拶
14:00-14:45 アーティストトーク 米谷健+ジュリア／L棟L1教室
「見えない恐怖、絶えない不安と表現の力」 ※同時通訳あり
15:00-18:00 豪日交流基金(AJF)助成シンポジウム1／L棟L1教室
「フクシマの教訓」 ※同時通訳あり
司 会：生田目学文(東北福祉大学)
報 告 者：ピーター・ヴァン・ネス(オーストラリア国立大学) ※オンラインでの報告
ティルマン・ラフ(メルボルン大学・ICAN) ※オンラインでの報告
川崎 哲(ピースボート)
細川弘明(京都精華大学・原子力市民委員会)
藍原寛子(ジャーナリスト)
18:00-18:15 オーストラリア学会優秀論文賞授賞式／L棟L1教室

第2日目 2021
6.13(日)

会場
ザ・セレクトン福島
〒960-8068
福島県福島市太田町 13-73

会場アクセス
<http://celecton-fk.jp/access/>

10:00-12:00 一般個別研究報告／西館3階安達太良 I ・本館3階吾妻 I
12:00-13:00 昼食休憩／休憩室：本館3階吾妻 II
13:00 理事会／本館3階吾妻 I
14:00-16:30 総会／西館3階安達太良 I
豪日交流基金(AJF)助成シンポジウム2／西館3階安達太良 I
「フクシマから始まる越境：オルタナティブを考える」 ※日本語・同時通訳なし
司 会：塩原良和(慶應義塾大学)
報 告 者：アレクサンダー・ブラウン(シドニー工科大学) ※オンラインでの報告
「越境する資源、越境する社会運動：もう1つの日豪関係史に向けて」
若松亮太(モナシュ大学) ※オンラインでの報告
「破壊から希望へ：原発災害後の海外移住が意味するもの」
川端浩平(津田塾大学)
「多文化的実践と放射能汚染：福島の朝鮮学校コミュニティのフィールドワークから」
16:30 閉会挨拶

詳細は、オーストラリア学会ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.australianstudies.jp/>

ご来場いただく際は右記の点にご留意ください。
・来場前に検温を行い発熱や風邪等の症状があるか確認し、症状がある場合は参加を自粛してください。
・手指の消毒、マスク着用など感染防止対策を徹底して行ってください。
・入室時や休憩時間中に「三密」が生じないよう行動してください。
・参加する前に接触確認アプリのインストールを推奨します。



Australian Government



豪日交流基金
Australia-Japan FOUNDATION